

寿能城跡(さいたま市)

じゅのうじょうあと

築城年代:永禄三年(1560)、築城者:潮田資忠(うしおだ すけただ)

正面は大宮警察署寿能交番でその右端に石碑が立っている



「壽能城址」とある



この交番の右手の道を入って行くと、前方に大宮公園の木々が見えてくる/寿能一丁目と二丁目(この辺り)の大部分が城域らしい



その少し手前の左手に寿能公園がある/正面のポールに左矢印があり、寿能城跡と記されている



ここが寿能公園で、この一帯が寿能城本丸跡とされる



前方の塚状のところが当時の物見櫓のあったところらしい/南側から見たところ



この塚は潮田資忠の墓所となっている



これが元文3年(1738)に建てられた潮田資忠の墓碑



寿能城について記された石碑



内容は下記ホームページで分かり易く読むことができます。
<http://blogs.yahoo.co.jp/kanezane/60268332.html>

物見櫓跡を東側から見たところ/説明板が立っている



見沼代用水路の東南側に出丸があったと記されている

県指定旧跡

寿能城跡

昭和三十七年十月一日指定

寿能城は戦国時代の城で、岩槻太田氏に敵対していた北条氏、特に川越城への備えのために、岩槻城の支城として永禄三年（一五六〇）頃築かれたといわれています。

その立地は、かつての見沼が三方を囲み、自然の要害地でした。ここ寿能公園一帯がかつての本丸跡で、墓碑の立っている塚は物見櫓の跡とも言われています。見沼

代用水路西縁を挟んで、東南の方角には、見沼に飛び出る形で出丸もありました。

岩槻の太田資正の子である潮田出羽守資忠ただの居城といわれていますが、天正十八年（一五九〇）、豊臣秀吉の小田原攻めの際に、豊臣勢の攻撃で落城しました。

平成二十四年三月

さいたま市教育委員会



※文化財のお問い合わせは
教育委員会生涯学習部 文化財保護課

※看板についてのお問い合わせは
都市局都市計画部みどり推進課
TEL.048-629-1111(代表)

見沼たんぼのホームページ
<http://www.misumatarbo-saitama.jp/>

さいたま市

この辺りは散歩コースになっているようだ/劣化していて良く読めない



南東側から本丸跡を見たところ



北東側から本丸跡を見たところ



北西側から本丸跡を見たところ



南西側から本丸跡を見たところ



さて、ここが見沼代水路に架かる潮田橋



渡ったところに説明板が立っている





あぶ
はいらない
独立行政法人 水資源機構

水 川 橋本池 橋本池
350m 220m 30m
MIZUKAWA BRIDGEMOTOICHI
350M 220M 30M

水資源機構 橋本池
700m 1200m
MIZUKAWA BRIDGEMOTOICHI
700M 1200M

あぶ
はいらない
独立行政法人 水資源機構

あぶ
はいらない
独立行政法人 水資源機構

寿能上橋を右手に進み、芝川を越えて坂を上った一帯に大和田陣屋があったという

うしおだ
潮田橋

見沼代用水西縁は、江戸時代半ばに8代将軍徳川吉宗の命を受けた井沢弥惣兵衛が、享保13年（1728年）に利根川の水を現在の行田市下中条から引いてつくった農業用水です。現在は、周辺の水田が減少したため飲料水としても利用されるようになり、大宮区・浦和区境から荒川へ送水されています。「潮田橋」は、戦国時代の終わり頃、当地にあった寿能城の城主・潮田出羽守資忠の名に因んで付けられたと思われます。寿能城は、永禄3年（1560）に岩槻城の支城として築城されましたが、天正18年（1590）に小田原攻めの豊臣秀吉の軍勢に攻められ落城しました。橋の西方80mにある寿能公園は、城域の一部であるといわれ園内には潮田出羽守資忠の墓碑が建てられています。ここから東方は、城の「出丸」と呼ばれ見沼の低地に突き出すような地形になっています。約150m上流の寿能上橋を右へ進むと芝川を越え、大和田町へ入ります。坂を上った一帯は、市内で最も標高の高い場所で、寿能城、岩槻城と結びつきの強かった大和田陣屋がありました。寿能城を中心とする当地周辺は中世の大宮の軍事拠点といえましょう。

見沼たんぼ周辺案内



問い合わせ先
さいたま市 文化財保護課
みどり推進課
見沼たんぼのホームページ
http://www.minumatanbo-saitama.jp/



さいたま市

この見沼代用水路の左手(現在は大宮第二公園となっている)に出丸があったようだ



見沼代用水路に沿ってさまざまな説明板が並んでいる



見沼代用水とその移りかわり

昔、浦和市と大宮市の東の方に「見沼」という大きな池がありました。江戸時代の初めから約20年前、見沼の周辺地域の田に水を送るため、池の中ほどに土手「堤」を作つて水を漏れさせました。それ以来、この池は「見沼」と呼ばれるようになりました。しかし、見沼は、大雨が降るとあふれたり「溢水」、日張りが続いて水が足りなくなつたり「干ばつ」しました。また、灌漑の上流は自由に水が流さず、水がたまって合流して、その下流は、干涸びつても水が使えず、干涸びました。これらの問題を解決するため、つから200年前、高橋は、見沼灌漑を始めて新しい田を作り、「こに水の豊富な利用から用水を引く仕事を役人の井沼邊の村に任せました。こに見沼に代る用水として「見沼代用水」が誕生しました。それ以来、見沼代用水は多くの人々によって管理され守られてきました。

水開発と見沼代用水の目的

水が足りなくて、見沼代用は水の勢いで土割の病がはばかれたりして、用水が安定して流れのいづつでもあり、まー各地に家が建てられ、そこに住む人が増えることにより、水が足りなくなってきてきた。このようなことから、農業用水の一部を生活用水にまいるような仕組みの手配をお願いがなされてきました。そこで、約100年の間に安定した水を送ること、埼玉県東武沿の約2500戸の農業用水を送ることを目的に、昭和54年から、この見沼代用水により見沼代用水が管理と生活用水を専用トンネルの工事により、完成されてい。今、この見沼代用水は、とくに農業用水として活用されています。



見沼代用水西縁

見沼代用水は、水源を利根川に求めた農業用水として江戸時代中期の享保13年(1728)に開削されました。上尾市瓦葺で東縁と西縁の二筋に分流、西縁は東大宮～本郷～土呂～寿能～堀の内～天沼～北袋町へと流れ、かつては用水の東に上流から下流へと緑のジュウタンを敷きつめたような風景が広がっていました。水田を潤した水は芝川へ流れ、汚れのない水は動植物の生息に適し、昭和30年代初期まではゲンジボタルの繁殖地として著名な一帯でした。その後、周辺地の住宅化が進み、用水は護岸工事が施された都市型の水路となり、かつての水田地帯には大宮第二公園・第三公園、大和田公園が造成され市民憩いの場に姿を変えています。

見沼たんぼ周辺案内



問い合わせ先
さいたま市 TEL 048-829-1111(代)
文化財保護課
みどり推進課
見沼たんぼのホームページ
<http://www.minumatanbo-saitama.jp/>



さいたま市

ここが大宮第二公園の入口



☆☆☆ 大宮公園

ここ大宮第二公園は昭和55年にオープンし、テニスコートや軟式野球場をはじめ遊具も一般に開放されています。
早春の梅林では、紅梅、白梅などが咲き誇り、「香りロード」では、花や木の香りを楽しむことができます。

公園は、利用者の安全の確保です。
マナーを守り楽しく利用しましょう。

公園利用上の注意

-  禁煙
-  犬の自由徘徊禁止
-  ゴミは持ち帰りましょう

※この公園は、東京都立大宮公園です。



大宮公園案内図



お問い合わせ
TEL. 048-642-2328

この梅林や日本庭園の近くにある雑木林に出丸の名残り(土塁と空堀の痕跡)があるというが



この辺りが梅林



その周辺にこんな感じのところがある



土塁の名残りなのか、造成によるものなのか



裏手から見たところ



周辺はこんな感じになっている



堀跡なのが、排水側溝なのか



さて、ここが寿能上橋/ここを右手に進んでみる



この芝川を越えて少し登り坂になっているが、その坂を上った一帯に大和田陣屋があるらしい/今回は準備不足のため引き返す



参考ホームページ

<http://iyokakuzukan.la.coocan.jp/002saitama/071jyunou/jyunou.html>

<http://members.jcom.home.ne.jp/awayadaizen/2005-kenbun/oshirokenbun-zyunou.html>

<http://www.geocities.jp/bane2161/jyunoujyou.html>

<http://www.asahi-net.or.jp/~xx9k-stu/rekisi/jyunoujyou.htm>

<http://maro32.com/%E5%AF%BF%E8%83%BD%E5%9F%8E/>

<http://tochigi-burg.com/jyunou.htm>

<http://blogs.yahoo.co.jp/kanezane/60268332.html>

http://castle.slowstandard.com/08kanto/11saitama/post_905.html

<http://ameblo.jp/castle-manabu/entry-11600148470.html>

<http://www5f.biglobe.ne.jp/~mononofu/jyunouzyou.html>

<http://homepage3.nifty.com/azusa/saitama/saitamasi.htm>

<http://www.siromegu.com/castle/saitama/junou/junou.htm>

<http://www42.tok2.com/home/hakubutukan/musashi/jyunou.html>

左手の大宮北中の辺りに大手門があったという

